



大阪新聞錦画
二号

種痘の御世話も馬の耳ゆ風と

ニッの馬や為朝の宿を悦ぶ親達お
さらせ置れた咄し有り堀江辺の
人か車まかぬ立派を二人の、或る日街の
客すち小三人連との子供を味くのせらる
口車小乗りー子供のをゆひハモウ大阪の
未あれを是より諸国へ廻りて續くけけ
しやらんあぐ、話もつとぬ

今宮の
送りお車ぐか
ありお見まを

子供は
まがろの夢うつくしみ
くせやちと極まる十美の色入て有てー赤城小是を
まらり發馬ちしう咄しめそり此抹子瘡瘡神知れり

握昇記

人の噂をさくか
つけ早く何まの
親達
心を控
小舟江の芦の
それをらを植て葉
えり子代竹枝葉
の葉へを祈を

錦画
堂

石丸
子
子

大阪新聞錦画2号 文庫10-8066-2